

令和元年度第1回龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会全体会

日 時：令和元年 7月 8日（月）

午後2時から

場 所：龍ヶ崎市役所5階全員協議会室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 各専門部会（条例第7条第2項）からの報告

(2) 計画検討部会（条例第7条第1項）からの報告

【研 修】「障がい者の雇用情勢について」

龍ヶ崎公共職業安定所 海老原 良彦 委員

3 閉 会

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 部会割り振り

選出区分	推薦元の機関・団体	氏名	計画検討部会	就労支援部会	広報・啓発部会	地域居住支援部会
障がい福祉サービス事業者	龍ヶ崎市障がい福祉サービス事業所 連絡協議会	小島 都		○		
		大野 美智子	○			副部会長
		安井 幸代	○		副部会長 (居住担当)	
地域ケア受託者	龍ヶ崎市社会福祉協議会	寺崎 真	○			部会長
障がい者関係団体	身体障がい者団体 (市身体障害者福祉協会)	高野 重彦		○		○
	知的障がい者家族 (龍ヶ崎市障がい福祉サービス事業所連絡協議会)	稲川 めぐみ	○	○	部会長 (就労担当)	
	精神障がい者団体 (龍ヶ崎地方家族会)	大久保 タイ子	○	部会長		○
医療・保健関係者	竜ヶ崎市・牛久市医師会	池田 八郎	○			
	訪問看護ステーション竜ヶ崎	田村 和子			○ (就労担当)	
	茨城県竜ヶ崎保健所	大本 俊子				○
	茨城県作業療法士会	島田 康司			○ (居住担当)	
教育関係者	茨城県立美浦特別支援学校	松本 牧子		○		
	茨城県立つくば特別支援学校	覺張 茂樹			○ (就労担当)	
雇用に係る団体又は 機関の関係者	龍ヶ崎公共職業安定所	海老原 良彦		○		
	龍ヶ崎市商工会 (米山鉄工(株)竜ヶ崎工場)	横岡 明彦	○	副部会長		
	つくばの里工業団地運営協議会 (ダイライト株式会社)	大久保 一裕		○		
学識経験者	流通経済大学	米原 立将	○			
市議会議員	龍ヶ崎市議会	山村 尚				○
市民公募	市民	南部 節子			○ (居住担当)	
	市民	芳住 久江				○
				8	6	7

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 専門部会報告書

	令和元年度第1回 計画検討部会
会議開催日・場所	令和元年6月13日(金) 15:30~17:15 市役所附属棟1階第2会議室
出席者	委員/米原部会長、安井委員、大久保委員、横岡委員、稲川委員、横岡委員 事務局/藤ヶ崎障がい支援GL、釣主査、古谷(書記)
議題・検討内容	<p>「龍ヶ崎市障がい者プラン・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の進捗報告(平成30年度の実績並びに課題、平成31年度実績計画について、各課から報告があったものについて説明した。)</p> <p>【事前に受け付けた質問についての回答】</p> <p>質問1 在宅ケアチームを8チーム構成し、との記載があるがどのような障がいを持った方々にどのような支援を行ったのか。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>施策6(3) 地域移行支援・在宅サービスの充実</p> <p>① 自立支援への支援</p> <p>地域ケアシステムの充実について</p> </div> <p>●社会福祉協議会 寺崎委員報告</p> <p>8チームは、8つのケースにチームで関わったという記載の仕方をした。日常生活自立支援事業で関わったケースや、サービスに繋がらなかったケースもあった。関わり方の度合いとして、精神のケースでは連日の対応が必要であったり、見守り程度の関りがあった。チームはケアマネや民生委員や近隣住民の方や施設の職員など、複数名で関わった。</p> <p>質問2 精神障がい者にも適応した地域ケアシステムは今後どのように計画する予定か。精神障害者は家族が、さまざまな支援にあたっているのが現状なので、精神障害の相談に総合的に長期にわたり支援できる体制を、地域ケアシステムとして考えていただきたい。</p> <p>●事務局回答</p> <p>地域包括支援センターの在宅医療・連携事業で、地域ケアシステムの構築を目的に、地域ケア会議や連携推進会議等が開催されているので、会議等に参加し、地域で高齢者や障がいを持った方をどのように支えていくのかを検討していく。</p> <p>【その他の質問】</p> <p>質問3 美浦特別支援学校と市内の特別支援学級と一緒に活動しているが、通常学級との交流学习は行われているのか。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>施策3 教育の振興</p> <p>② 交流教育の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 障がいのない児童・生徒が障がい児に対する正しい理解と互いに認め合う豊かな人間関係を育めるよう、特別支援学級や特別支援学校との交流機会の拡充に努めます。</p> </div>

	<p>●事務局回答 担当課に確認後、後日回答。 居住地交流で通常の学級とレクリエーションや特別活動を行っている。(指導課)</p> <p>質問 4 しばらく前のことだが、佐賀期日前投票所のスロープに人が並んで待っているの、車椅子を押して通れないのではないかと感じた。 スロープがあっても、使いやすいとは言えないのでは。</p> <p>施策 11 選挙等における配慮 (2) 選挙等における配慮 <input type="checkbox"/> 障がい者に配慮をした投票所を設置し、適切な対応に努めます。</p> <p>●事務局回答 以前にご意見をいただき、担当課に伝えてある。スロープの幅は以前より広くなったので、利用していただき、ご意見をいただければ。</p> <p>質問 5 「ひきこもり」については、どこの部署で対応するのか。今回の計画にはひきこもりについての記載はないが、計画に盛り込む必要があることを全体会で、計画部会の意見として提示したい。</p> <p>●事務局回答 ひきこもりの相談対応は、社会福祉課で行っている。 障がい者プランや自殺対策計画には、ひきこもりに関して記載されていない。 国や県の動向を見ながら対応する。</p> <p>意見・感想 ・ホームページのアクセス数を指標と捉えて、市民に伝えるための効果的な周知方法を検討してはいかがか。 ・計画に沿って、皆さんいろいろ考えて、実行していただいているのが分かった。</p> <p>以上を以て散会、終了となった。</p>
<p>今後の予定</p>	<p>全体会 7月8日(月) 14時から</p>
<p>備 考</p>	

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 専門部会報告書

	平成30年度第1回 広報・啓発部会
会議開催日・場所	平成30年9月20日(木) 龍ヶ崎市役所 附属棟2階第2会議室
出席者	出席 稲川委員 島田委員 田村委員 覺張委員 南部委員 安井委員 欠席 なし 事務局 藤ヶ崎課長補佐 久主査
議題・検討内容	<p>1 委員及び事務局自己紹介</p> <p>2 部会長・副部会長の選任 部会長に稲川委員，副部会長に安井委員と決定</p> <p>3 事業計画について</p> <p>① これまでの活動内容を事務局より報告</p> <p>② 今後の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民への広報と，当事者やその家族に向けてと大きく二つに分かれる。 ・広報誌掲載に関しては，定期的に同じ記事を載せてもいいものもある。広報誌掲載は一旦事務局預かりとする。 ・就労支援・地域居住支援の両部会からの広報に関するニーズがでてくる。広報啓発部会の委員が両部会に出席することにより，広報すべき事案の情報収集を行い，広報につなげていくことに。 <p>割り振りは，地域居住支援部会に安井副部会長・南部委員・島田委員，就労支援部会に稲川部会長・覺張委員・田村委員となり，持ち回りで1名ずつ出席していくことになった。</p>
今後の予定	就労支援・地域居住支援の両部会の2回目終了後(平成31年当初頃)
備考 (資料)	

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 専門部会報告書

	平成30年度第1回 就労支援部会
会議開催日・場所	平成30年9月13日(木) 午前10時~12時 附属棟2階第2会議室
出席者	委員 小島、高野、稲川、大久保、横岡、菊池 事務局 藤ヶ崎、釣 (※敬称略)
議題・検討内容	<p>(1) 委員・事務局員の自己紹介</p> <p>(2) 部会長、副部会長の決定</p> <p>部会長 大久保タイ子委員 (龍ヶ崎地方家族会)</p> <p>副部会長 横岡 明彦委員 (龍ヶ崎市商工会)</p> <p>書記 稲川 めぐみ委員 (福・サービス事業所連絡協議会)</p> <p>※事務局より部会長、副部会長は計画検討部会の委員となることを説明</p> <p>(3) 前期までの取り組みの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般就労及び福祉的就労の支援の2本立てで進めてきた。 一般就労部門では就労状況の確認と障害者雇用セミナーを行い、福祉的就労部門では協議と実際の相談支援、就労支援の現場の視察などを行なった。 <p>(4) 今年度の事業計画について</p> <p>障害者の経済的な自立支援のため、就労支援が重点施策に位置づけられている。引き続き2本立てとするが、今年のテーマはどのような内容にするか協議をした。</p> <p><各委員からの意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の老健施設で除草作業を行っているが、少し前からシート剥がし等の新しい仕事の依頼を受けている。企業等から障害者にできる仕事を出してもらえると、他の事業所にも声をかけて出向く仕事として取り組めるのではないだろうか。 会社や事業所側は今まで、仕事を出すという感覚が十分とは言えなかったため、今後は、障害者ができる仕事を考えたり、障害者側からもできる仕事を提案してほしい。 企業側では人手が足りず労務に困っている。雇用したいが相談窓口がない。 家族と暮らしている障害者は地域での就労も希望の一つである。もっと龍ヶ崎市の商業や産業、企業の実情を知り、地域で働ける環境づくりのために何が必要なのか、できることはないか協同で考えたい。 年間を通して様々なイベントがある。障害者の視点を持ち関わりたい。 <p><今年度の事業計画></p> <ol style="list-style-type: none"> 地域の現状把握。HPなどで企業側のニーズを把握する。 障害者はどのようなニーズをもっているのか。企業側に伝える。 情報を共有できる場の創出。地域で働くためのネットワークづくり。 ハローワークと連携、障害者の雇用の現状を聞き支援を考える。 その他 見学研修、市の街づくり政策、イベント、セミナー、講演会などへの取り組みは必要に応じて2回以降の部会で検討する。
今後の予定	第2回就労支援部会 ハローワークの委員から障害者雇用の現状を聞く。
備考	自殺対策計画が今年度内に策定され、来年4月より計画施行予定とのこと

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 専門部会報告書

	令和元年度第1回 就労支援部会
会議開催日・場所	令和元年6月11日(火) 市役所附属棟1階第2会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・大久保委員, 横岡委員, 小島委員, 松本委員, 海老原委員, 高野委員 稲川 ・事務局/藤ヶ崎課長補佐, 古谷係長
議題・検討内容	<p>1 委員自己紹介及び前回の取り組みについての振り返り(計画の確認)</p> <p>2. ハローワーク海老原委員より管内の障害者の就労の状況について 現在、3障がい併せて1000人弱が就業中であり、500人弱の有効求職者がある事や、新規の登録者数が年々増加傾向にあり、特にうつ病・発達障害が増えている事、また、時期によって大きな差はなく、1年間で240件が就職に結びついている事などが、資料に沿って説明された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者からの相談として、離職についても多く寄せられる。 ・企業側からも、せっかく雇用してもすぐにやめてしまうと、再度雇用することに慎重にならざるを得ない、との意見もあり。双方にとって定着支援の重要性が感じられる。 <p>委員からの意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークに求職に出向く段階に至っていない、福祉サービスにもつながりにくい引きこもりの状況にある方への具体的な支援の方法はないか ・支援者同伴で農作業などの手伝いが出来ないか ・企業と障がい者のマッチングの場があるとよい ・HPなどを開設してはどうか などの発言があった。
今後の予定	<p>職業訓練の行っている機関の施設見学を検討する。</p> <p>マッチングの為にネットワーク作りを検討</p> <p>11月23日 いがっぺ市への当事者の参加を検討する。</p>
備考	

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 専門部会報告書

	平成30年度第1回 地域居住支援部会
会議開催日・場所	平成30年9月26日 龍ヶ崎市役所 地階食堂
出席者	出席 大野委員、寺崎委員、大久保委員、大本委員、芳住委員 欠席 高野委員、椎塚委員 事務局 藤ヶ崎課長補佐、釣係長
議題・検討内容	<p>1. 委員自己紹介</p> <p>2. 部会長、副部会長の決定 話し合いにより、部会長は寺崎委員、副部会長は大野委員に決定。</p> <p>3. 事業計画について</p> <p>1) 前期の居住支援部会の活動についての報告（釣） 主にグループホームの拡充について話してきたが、途中から障がい者の暮らしに話に移り、その話し合いをまとめたものを「障がいを持つ方のさまざまなライフスタイル」というタイトルでりゅうほーに掲載した。</p> <p>2) 今期の活動の方向性について</p> <p>①障がい者のための防災マニュアルの策定について（事務局提案） 地域で障がい者が安全に暮らせるための防災マニュアルの策定にとりくんでみてはどうか。 ・各種障がい者団体及び障がいサービス事業所等からヒアリングを行い、そのヒアリング結果をまとめていく形で進める。 ・大変困難とは思いますが、各種団体からヒアリングを進めるということは非常に良いことだと思う</p> <p>②障がい者の暮らし方について（大久保委員提案） ・精神障がい、知的障がいに関していえば、「親亡き後の生活」というのが大きな課題である。特に「住まい」の面で、親亡き後も自宅で暮らすのか、あるいは利便性の高い場所の賃貸住宅で暮らすのか、さまざまな選択がある。ただいずれにせよ、地域の支援者が必要となる。他市の事例では、不動産屋が協力して、賃貸物件の斡旋を行っていたりする。そういった、総合的な「住まい」について取り上げてはどうか。 ・「住まい」の問題と同時に、暮らしを支える福祉サービス、特に訪問系の福祉サービスの担い手が少ないことに懸念している。防災マニュアルのためのヒアリングをするのであれば、事業所のヒアリングも行い、サービスの展開についても聞き取ればいいのではないかと。</p> <p>③児童の発達支援について（芳住委員提案） 障がい児の発達支援についてもぜひ何らかの形で取り上げてほしい。障がい児はいずれ大人になり、地域で暮らしていくことを考えれば、小さいうちから何らかの関わりが必要と考える。</p> <p>④結論 ・とりあえず各種団体からヒアリングを進め、「障がい者の住まい」及び「防災」について聞き取りを行う。また、障がい児サービス事業所や障がい児の親の団体等からもヒアリングを行う。 ・可能であれば2年間で防災マニュアルをまとめる。また、障がい者の住居についてヒアリングした結果をまとめて、年に1回はりゅうほーに掲載するようにする。 ・次回の部会では、事務局はヒアリング団体の一覧を作成、そしてヒアリングの内容について話し合い、次々回以降からヒアリングを開始する。</p> <p>4. その他 特になし。</p>
今後の予定	平成31年1月22日（火）14：00～ （地階食堂もしくは地域福祉会館）
備考 （資料）	

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会 専門部会報告書

	平成30年度第2回 地域居住支援部会																		
会議開催日・場所	平成31年1月22日 龍ヶ崎市役所 附属棟1F第3会議室																		
出席者	出席 大野委員、寺崎委員、高野委員、大久保委員、大本委員、椎塚委員 南部委員（広報啓発） 欠席 芳住委員、安井委員（広報啓発）、島田委員（広報啓発） 事務局 藤ヶ崎課長補佐、釣係長																		
議題・検討内容	<p>1. 委員自己紹介</p> <p>2. 障がい者団体のヒアリングについて（添付資料）事務局説明</p> <p>3. ヒアリング団体の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・候補の6団体だけではなく、学齢期の障がい児の親も災害対応に心配しているので、若年層の親もヒアリングしてはどうか。 ・学齢期の子どもは学校や施設で防災訓練をしているが、やはり家にいるときにどうするかという視点も必要 ・特別支援学校の先生からもヒアリングしたい。 ・発達障害、ひきこもりといった人たちもヒアリングしてはどうか。 ・一つの障がいに対して1団体だけでなく、複数を呼んでもいいと思う。 ・ヒアリングしないまでも各種団体にアンケートだけでも良い。 ・サービス事業所連絡協議会において、短くてもいいから話しをして、事業所の観点も欲しい。 <p>【ヒアリング団体の結論】</p> <table border="1" data-bbox="539 1019 1369 1339"> <tr> <td>1</td> <td>肢体不自由</td> <td>龍ヶ崎市身体障害者福祉協会 つくば特別支援学校</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>視覚障害</td> <td>茨城県視覚障害者協会 龍ヶ崎支部</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>聴覚障害</td> <td>龍ヶ崎市聴覚障害者協会</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>内部障がい</td> <td>日本オストミー協会茨城支部 その他</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>精神障害</td> <td>龍ヶ崎地方家族会 ゆっころ吉田氏 （発達障害関係）</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>知的障がい</td> <td>かんばにい 稲川氏 つぼみ園の父兄</td> </tr> </table> <p>1日に3団体のヒアリングは時間的に厳しいので、来年度の居住支援部会は4回実施し、1日に2団体のヒアリングとする。 部会の予定については、ヒアリング団体の都合を優先して、日程を決める。</p> <p>4. ヒアリングの内容および事前アンケートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 防災マニュアルの策定について <ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの内容はOK。そのアンケート内容に沿ってヒアリングを実施する。 2) 障がい者の「住まい」と「暮らし」について <ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートで、「住まい」と「暮らし」でかなり重なっている領域のため、回答が一緒になるのではないかと。 ・「住まい（住居）」と表現したうえで、どうしても「住まい」の問題は大きいので、各団体に確認をしたい。そのうえで、「暮らし」として必要なサービスが何なのかを明らかにしたい。 ・事前アンケートのままで内容はOK 	1	肢体不自由	龍ヶ崎市身体障害者福祉協会 つくば特別支援学校	2	視覚障害	茨城県視覚障害者協会 龍ヶ崎支部	3	聴覚障害	龍ヶ崎市聴覚障害者協会	4	内部障がい	日本オストミー協会茨城支部 その他	5	精神障害	龍ヶ崎地方家族会 ゆっころ吉田氏 （発達障害関係）	6	知的障がい	かんばにい 稲川氏 つぼみ園の父兄
1	肢体不自由	龍ヶ崎市身体障害者福祉協会 つくば特別支援学校																	
2	視覚障害	茨城県視覚障害者協会 龍ヶ崎支部																	
3	聴覚障害	龍ヶ崎市聴覚障害者協会																	
4	内部障がい	日本オストミー協会茨城支部 その他																	
5	精神障害	龍ヶ崎地方家族会 ゆっころ吉田氏 （発達障害関係）																	
6	知的障がい	かんばにい 稲川氏 つぼみ園の父兄																	
今後の予定	平成31年4月から5月ごろ ヒアリング団体のスケジュールに合わせる（市役所）																		
備考 (資料)																			

龍ヶ崎市障がい者自立支援協議会スケジュール

	令和元年7月～令和2年6月											
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体 会	令和元年度 第1回											令和2年度 第1回
計画検討部会				令和元年度 第2回							令和元年度 第3回	
			■「龍ヶ崎市障がい者プラン」 アンケートの設問について							■「龍ヶ崎市障がい者プラン」 の進捗に関する審議		
就労支援部会 地域居住支援部会 広報啓発部会	■各部会長と調整のうえで随時開催（年間2～3回程度）											